

令和7年度 全国学力・学習状況調査の結果について

公表の趣旨

今後10年間の本市教育が目指すべき方向性とその施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、令和3年3月に「長岡京市第2期教育振興基本計画」を策定しました。今年度は計画5年目にあたります。本市公立学校の児童生徒の学力・学習状況について、保護者・市民の皆様にお伝えするとともに、更なる学力の向上に向けて、学校教育へのご支援、ご協力をお願いするものです。

調査の概要

1 調査の目的

- ・義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- ・そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査実施日 令和7年4月17日(木) ※中学校理科は14日(月)～17日(木)

3 対象となる児童・生徒 小学校第6学年・中学校第3学年
※ 義務教育学校、中等教育学校、特別支援学校の該当学年を含む。

4 調査事項及び手法

(1)児童生徒に対する調査

ア 教科に関する調査（国語、算数・数学、理科）

※中学校理科は、ICT端末等を用いたオンライン方式で実施

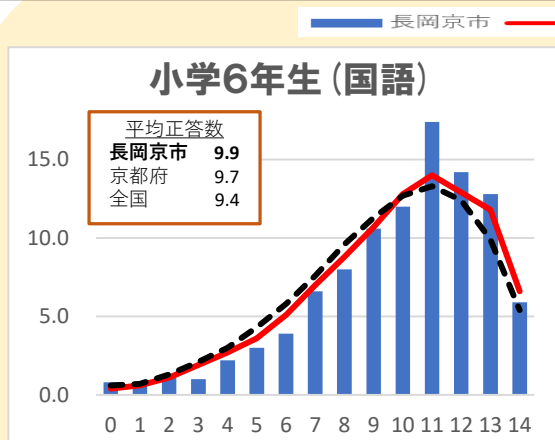
イ 質問調査

(2)学校に対する質問調査

学 力 の 状 況

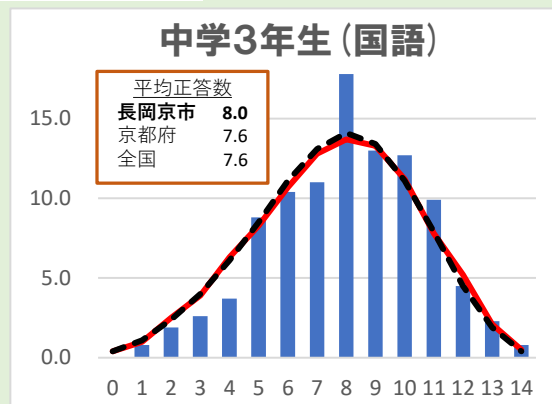
本市の小中学生の学力は高いレベルにあります

正答数分布グラフ 【小学校】国語:14問 算数:16問 理科:17問 【中学校】国語:14問 数学:15問 ※理科:IRTを用いた結果



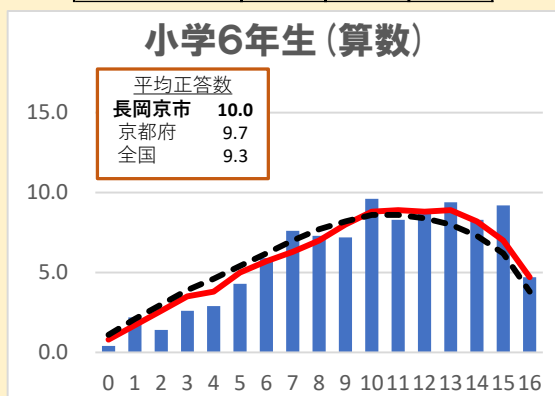
◆平均正答数の推移(小学6年生・国語、過去3回)

	R4	R5	R6
長岡京市	9.9	10.2	10.1
京 都 府	9.5	9.8	9.8
全 国	9.2	9.4	9.5
問 題 数	14問	14問	14問



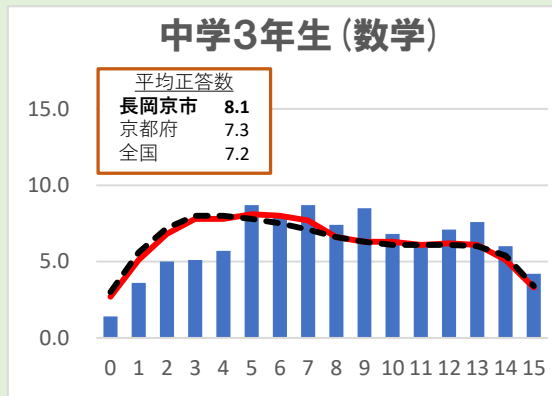
◆平均正答数の推移(中学3年生・国語、過去3回)

	R4	R5	R6
長岡京市	10.4	11.2	9.4
京 都 府	9.7	10.6	8.9
全 国	9.7	10.5	8.7
問 題 数	14問	15問	15問



◆平均正答数の推移(小学6年生・算数、過去3回)

	R4	R5	R6
長岡京市	11.1	11.1	11.2
京 都 府	10.4	10.4	10.7
全 国	10.1	10.0	10.1
問 題 数	16問	16問	16問



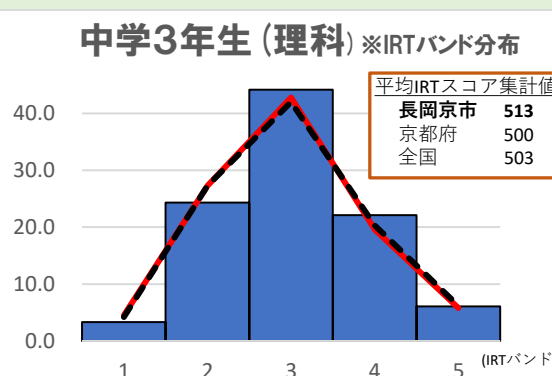
◆平均正答数の推移(中学3年生・数学、過去3回)

	R4	R5	R6
長岡京市	8.2	8.8	9.4
京 都 府	7.2	7.8	8.4
全 国	7.2	7.6	8.4
問 題 数	14問	15問	16問



◆平均正答数の推移(小学6年生・理科、過去3回)

	H27	H30	R4
長岡京市	15.8	10.0	11.5
京 都 府	14.9	9.9	11.0
全 国	14.6	9.6	10.8
問 題 数	24問	16問	17問



◇IRT

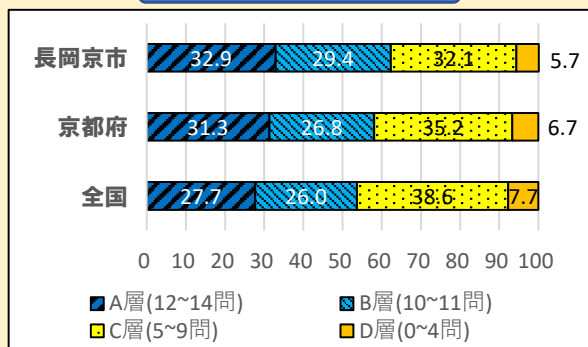
項目反応理論(IRT)を用いて、500を基準とするスコアで表示。個人の結果は5段階のIRTバンド(5が上位)で表示・返却。

学力層の割合【単位:%】

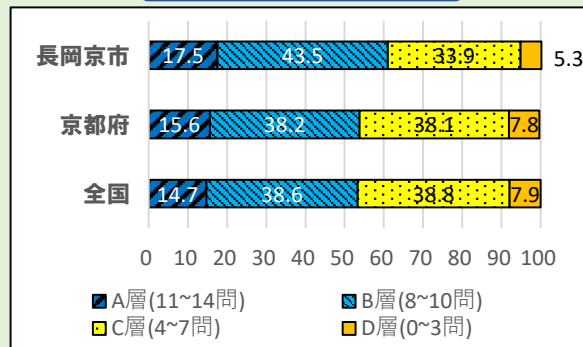
全国の平均正答数以上の児童生徒をA層(上位)、B層(中上位)、平均正答数未満の児童生徒をC層(中下位)、D層(下位)にそれぞれ2分割しています。

中学校理科のみ、IRTバンド1～5(5が上位)の割合を示しています。

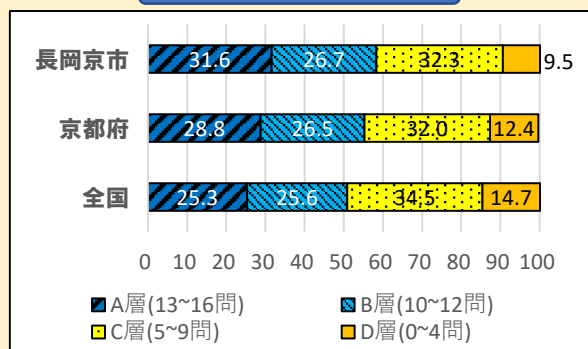
小学6年生・国語



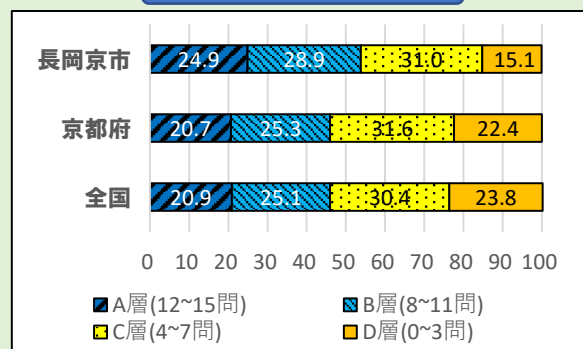
中学3年生・国語



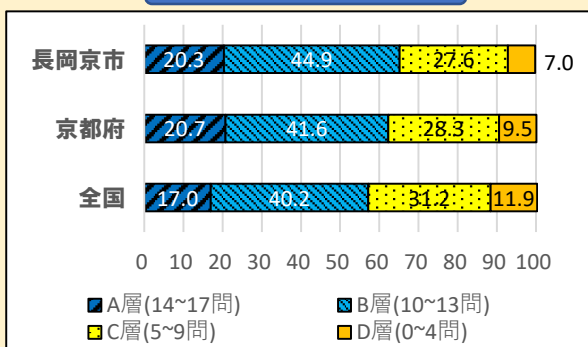
小学6年生・算数



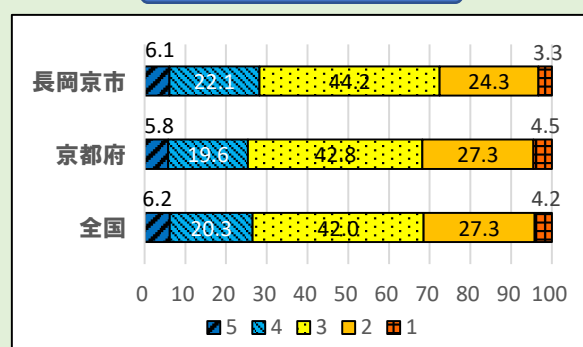
中学3年生・数学



小学6年生・理科



中学3年生・理科



前ページの正答数分布グラフを見ると、小学校、中学校ともに、全国や京都府と比較して、正答数の多い児童生徒の割合が高くなっています。

過去の調査結果も同様の傾向を示しており、本市の小中学生の学力は全国や京都府と比較して高いレベルにあるといえます。これは、ご家庭や地域の教育力、学校・家庭・地域の連携、学校教職員の努力、そして、何よりも子どもたちの頑張りによるものと考えています。

また、国語、算数・数学、理科(小学校)の学力層(A～D)の割合を見ると、全国や京都府の割合と比較して、D層の割合が低くなっています。また、中学校理科についても、IRTバンド2や1の割合が低くなっています。本市では、「D層を前年度より減少させる」ことを指標に掲げ、教科指導の充実と指導方法の改善に取り組んできましたが、今までの取組の成果が表れているものと考えています。子どもたちの更なる学力の向上を目指して、授業改善に取り組んでいきます。

※具体的な設問例は、4ページ目に掲載

令和7年度 具体的な設問例～記述式問題～

国語の調査では、話し合いでの発言や文章から目的に応じて必要な情報を取り出したり、目的に応じて文章を工夫して書いたりすることができるかを問う問題が複数出題されています。

中3国語では、文書作成ソフトを使って、学校で行う美術展のちらしを作成する場面を取り上げ、自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるかをみる問題が出題されました。

大問1四

今年の美術展では、昨年の美術展に来場した小学生の感想をもとに内容を工夫しています。中井さんは、そのことを【ちらし】（更新版②）の 部分に書き加えることにしました。あなたならどのように書きますか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 今年の美術展の【工夫】のA、Bから1つ選び、それと結び付く小学生の【感想の一部】をAからウまでの中から1つ選び、それぞれ塗りつぶすこと。

条件2 条件1で選んだ、今年の美術展の【工夫】と小学生の【感想の一部】との関係がわかるように、接続する語句や指示する語句を使って書くこと。

【ちらし】（更新版②）

第一中学校 美術展

毎年、秋に行っている第一中学校の美術展のお知らせです。
 私たちが美術の時間につくった作品を展示します。どれもかいたしんの出来です。
 今年は、中学生による作品の説明や小学生向けの体験コーナーもあります。

日 時 令和7年11月15日（土） 10時～16時
 場 所 第一中学校 体育館
 会場図

体験できる時間（各回30分間）
 ①10時～ ②11時～ ③12時～ ④13時～
 中学生と一緒に、好きな色のタイルを貼って自分だけのペン立てをつくることができます。

第一小学校6年生のみなさんへ

【工夫】

- A 作品に込めた思いや作品をつくる過程について、中学生が、来場者の求めに応じて説明する。
- B 昨年はおみやげにしていたペン立てを、今年は体験コーナーを設けて、小学生につくってもらう。中学生は、美術の時間に学んだことを生かし、手助けや助言をする。

【感想の一部】

- ア どうやってあんなすばらしい作品をつくったのか知りたくなりました。美術でどんなことを学べるのが楽しみです。
- イ いろいろな作品が展示されていて楽しかったです。思いのこもった作品が多いように感じました。
- ウ おみやげにペン立てをもらえてよかったです。手づくりだと聞いてびっくりしました。私もつくってみたいです。

【工夫】

【感想の一部】

① ②

③ ④ ⑤

← 選んだ【工夫】と【感想の一部】の記号を塗りつぶしなさい。

第一小学校6年生のみなさんへ

全国平均正答率が31.0%であった上記の設問において、本市の中学校の正答率は35.4%でした。記述式の設問は上記の他に3問あり、いずれも全国や府に比べて正答率の高いものの、「書くこと」に課題が見られます。各校で、主体的・対話的で深い学びを実現した授業、課題解決型の授業を引き続き行くとともに、他教科等との関連を図ることで、身に付ける資質・能力が社会生活で役に立つと子どもが実感できるよう学習指導に努めます。

質問調査の結果から

学習指導要領では、新しい時代を生きる子どもたちに必要な力を「資質・能力の3つの柱」として整理しています。

- A 実際の社会や生活で生きて働く「知識及び技能」
- B 未知の状況にも対応できる「思考力、判断力、表現力など」
- C 学んだことを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力、人間性など」

国が令和5年に策定した「第4期教育振興基本計画」では、自己肯定感や自己実現、人とのつながりや協働性などを育み、多様な個人それぞれが幸せや生きがいを感じるとともに、地域や社会が幸せや豊かさを感じられるものとなるよう、教育を通じたウェルビーイングの向上を求めています。

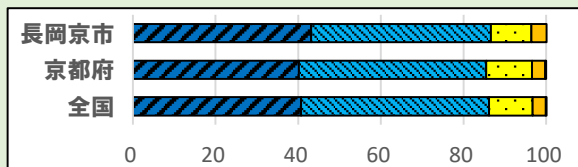
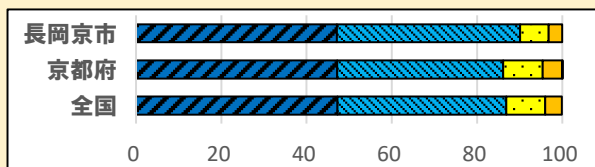
ウェルビーイングに関連する質問調査の結果は、質問項目によって多少の違いはあるものの、全国や府と同じような傾向を示しています。

小学6年生

中学3年生

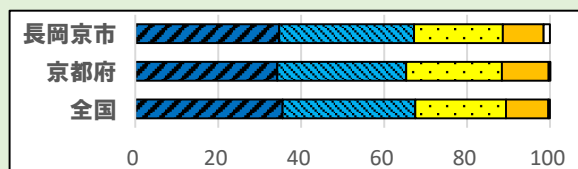
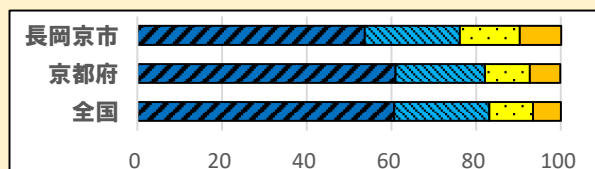
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 無回答

自分には、よいところがあると思いますか

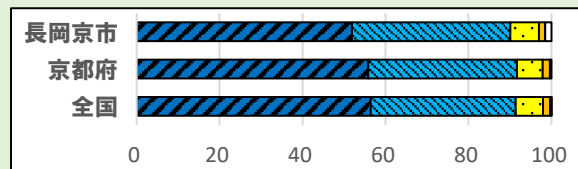
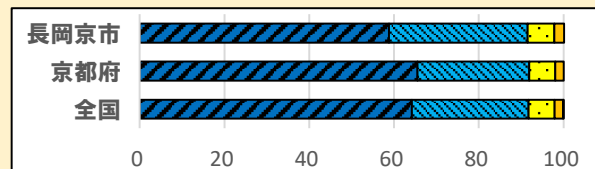


横軸:%

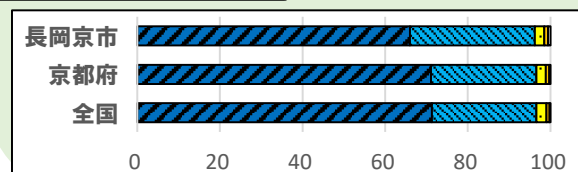
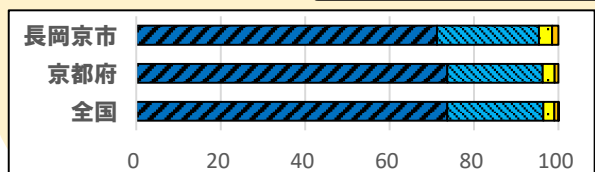
将来の夢や目標を持っていますか



友達関係に満足していますか



人の役に立つ人間になりたいと思いますか



中央教育審議会答申『「令和の日本型学校教育」の構築を目指して』では、ICTを有効に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させ、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善により、学習指導要領にある3つの柱をバランスよく育むことを求めています。

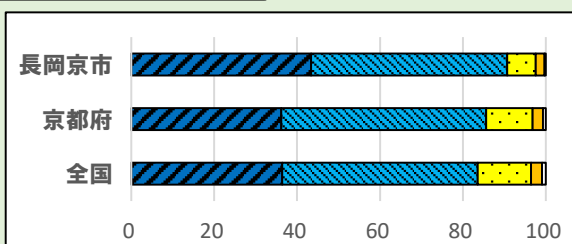
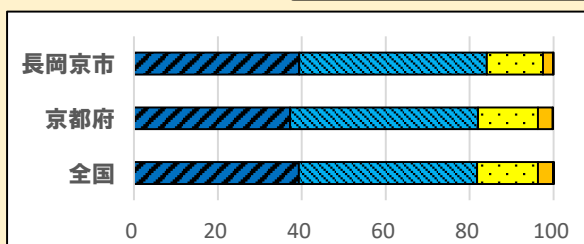
小学6年生

中学3年生

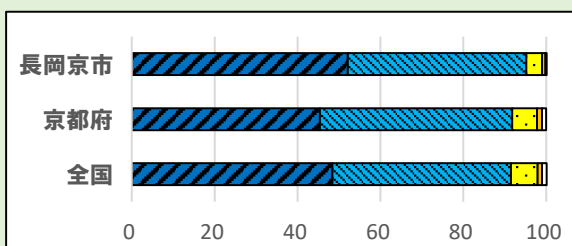
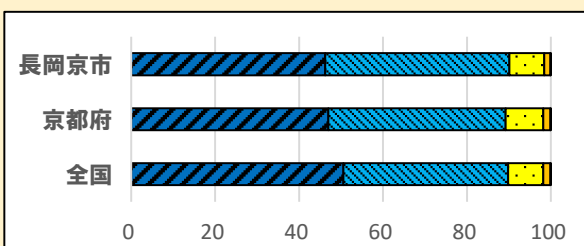
自分がICT機器を使って、(下記のことが)できると思いますか (ICT機器を活用する自信がある)

■ 当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまる ■ どちらかといえば、当てはまらない ■ 当てはまらない □ 無回答

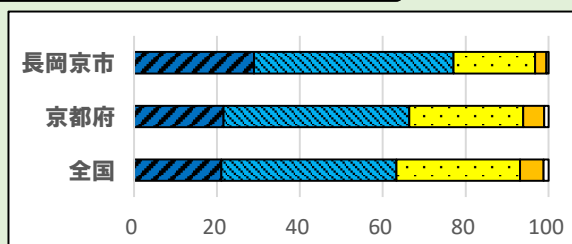
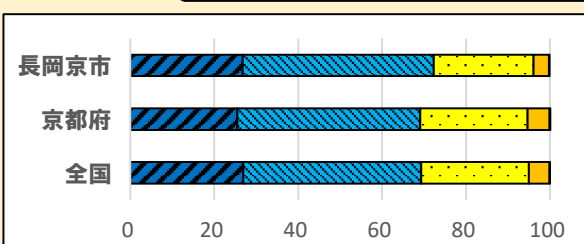
文章を作成する(文字、コメントを書くなど)こと



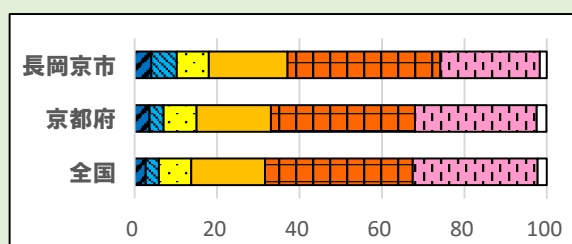
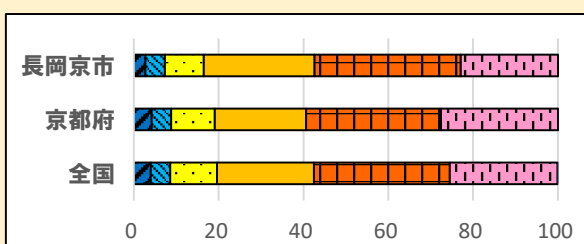
インターネットを使って情報を収集する(検索する、調べるなど)こと



情報を整理する(図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる)こと



学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、PC・タブレットなどのICT機器を、勉強のために使っていますか

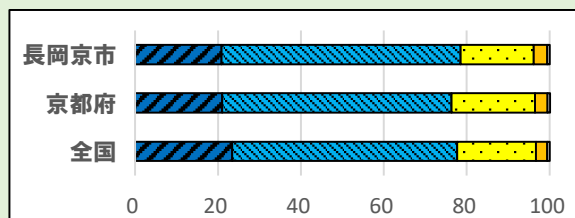
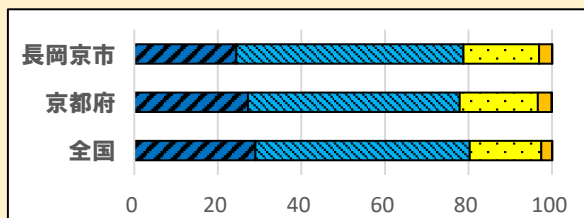


■ 3時間以上 ■ 2時間以上、3時間未満 ■ 1時間以上、2時間未満 ■ 30分以上、1時間未満 ■ 30分未満 ■ 全く使っていない □ その他・無回答

小学6年生

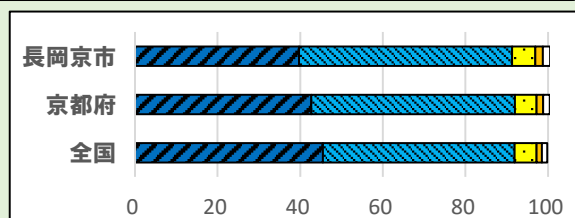
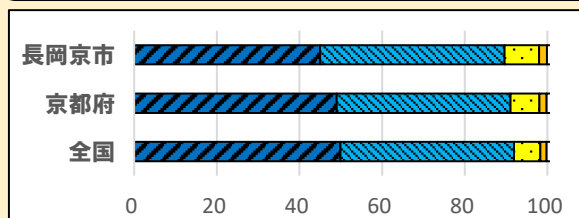
中学3年生

5年生まで(中学1、2年生のとき)に受けた授業で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか



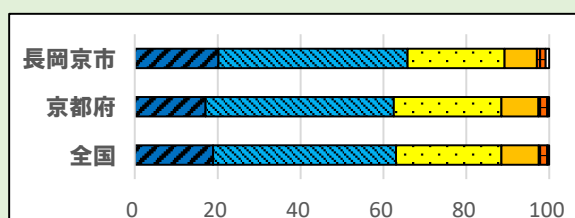
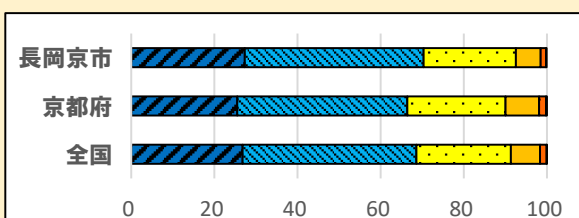
当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 無回答

授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか



当てはまる
 どちらかといえば、当てはまる
 どちらかといえば、当てはまらない
 当てはまらない
 無回答

5年生まで(中学1、2年生のとき)に受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



発表していた
 どちらかといえば、発表していた
 どちらかといえば、発表していなかった
 発表していなかった
 発表する機会がなかった
 無回答

本市では、今年度はアナログとデジタルのベストミックスを追究し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実に生かすことを目標にタブレット端末の活用を進めています。

質問調査の結果によると、児童生徒がICT機器を自信をもって活用し、勉強のために授業以外で使う時間も多くなることが分かります。また、授業において自分の考えがうまく伝わるよう、工夫して発表している子どもの割合が全国や府よりも高くなっています。

今後も発達段階に応じたタブレット端末の活用を進めるとともに、学習指導要領に基づく主体的・対話的で深い学びの促進に努めていきます。